

# 宮城県の現況

現 状

経済情勢はまだら模様

今 後

復興に向けた動きが加速

- ◆内陸部  
生産・営業設備の復旧や復旧事業等に  
伴い、持ち直しの動き
- ◆被害が甚大な沿岸部  
亶万等を中心に一部に復旧の動きがあ  
るが、厳しい状況が継続  
＜宮城県内被害額＞  
(23/10 宮城県公表)

- ・住宅関係 3兆9千億円
- ・水産関連 7千億円
- ・農業関連 5千億円
- ・公共土木交通 1兆円
- ・ライフイン他 1兆2千億円
- ※被害総額 約7兆4千億円

- ◆国：3次補正予算成立（23/11）
  - ・震災関連費用：約9.2兆円
  - ※1～3次補正予算での復興関連費用：15兆円強
  - ※5年間で「集中復興期間」、10年間で23兆円を見込む
- ◆宮城県：24年度当初予算案の方針公表（23/10）
  - ・復興に重点を置き倍増（過去最大）：約1.7兆円
  - ※復興計画期間（10年）に必要な財源：約13兆円
- ◆仙台市：復興計画決定（23/11）
  - ・総事業費：1兆円強（～27年度までの5年間）

＜参考＞宮城県内経済指標

(増減率は前年同月比)

項 目	現 状		
有効求人倍率	23/10	0.74倍	◆ 建設(4.85倍)や土木(3.84倍)で高い
失業手当受給者数	23/10	+72.5%	◆ 10月現在約22千人が受給
スーパー売上高(当行推計値)	23/10	+10.4%	◆ 津波被害地域からのシフト分による増加あり
百貨店売上高(仙台市内)	23/10	+9.7%	◆ 6カ月連続前年比プラス
乗用車新車販売台数	23/10	+57.3%	◆ 今後半年程度買い替え需要が続く見込み
住宅着工件数	23/10	+16.4%	◆ 持家で震災被害による建替需要が見られる
オフィスビル空室率(仙台ビジネス地区)	23/10	15.68%	◆ 7カ月連続改善
産業用大口電力需要	23/10	▲29.4%	◆ 8カ月連続前年比マイナス
鉱工業生産指数	23/9	▲27.9%	◆ 7カ月連続前年比マイナス
主要4漁港水揚高	23/9	▲49.5%	◆ 8カ月連続前年比マイナス
公共工事	23/10	+351.5%	◆ 6カ月連続前年比プラス
地価(商業地)	H23	▲5.9%	◆ 商業地3年連続マイナス
地価(住宅地)	H23	▲3.8%	◆ 住宅地14年連続マイナス